

学び舎ひまわり第6講「卒業式」開催報告

DATA

日時	平成28年 2月 14日(日)
	14時30分から18時15分
会場	港南公会堂
参加者	受講生 34名 卒業生 16名
	来賓 12名 計 62名



1. 卒業発表 受講生7名による「マイプラン」の発表



横川 朱實
(大久保最戸)

ハイタッチのできる笑顔と交流のまちづくり ～障がい者と保護者とのカフェ懇談会

地域の障がい者・児とそのお母さんの集まりである「大久保界限の会」から、現在開催している「ハートカフェ」のような自分たちも気軽に参加できる場がほしいという声があがりました。地域住民と一緒に活動できる場、お互いの理解を深める場、意見や情報を交換できる場として、カフェ懇談会を開催したいと思っています。



中村 雅也
(日野)

「“住んでいるまち”から“ずっと住みたいまち”へ」 ～日野ユース・シニア部

全世代が地域活動に係るようなまちを作るために、町内の中学生高校生を中心に「日野ユース部」を結成、さらに彼らが成人した後は「日野シニア部」に加入します。メンバーが無理なく出来る範囲で参加し、自治会行事の運営に携わることで世代的に切れ目のない担い手の確保につながり、より魅力的なまちになると思います。



齋藤 幸雄
(日野第一)

自助力・共助力を高め、より安全・安心なまちをつくる

様々な仕組みや組織、近隣町内会、民間企業などをプラットフォームでつなぎ、住民にとって、より住みやすい元気なまちづくりをしたいと思っています。様々なテーマにおいて各種団体が連携して取り組むことで、地域がまとまり、元気度がアップするのではないのでしょうか。



渡邊 正一
(永野)

まちをサロン化する（やすらぎと寄り添いの「美晴台」）

個人宅の庭先・軒先・ガレージなどを使って、ちいさなお店を作り「お店と住む場所が一体となったまちづくり」を目指します。まちを華やかにすることで、交流が生まれ、顔の見える関係作りにつながり、災害時の助け合いにも効果があると思います。眠っている人材の発掘にもなり、自治会活動にも入りやすくなると思います。



岡原 直樹
(下永谷)

活かせ！地域の『こども力』！ 私たちでもできるわくわく？避難所運営！

災害時に子ども達が「受け入れてもらう側」から「受け入れる側」として力を発揮できるよう訓練し、より効率的な避難所の運営を目指します。一方的に説明を聞くのではなく、実際避難所になる小学校の体育館に宿泊し、放水訓練の実演、炊き出しや肝試しなど、楽しく防災について学べるよう工夫します。



竹内 康雄
(永谷)

地域防災ネットワークの再構築

地域防災ネットワーク再構築の一環として、中高生を主体とした「遊動部」を立ち上げ、役員が揃うまで各部の支援活動を行います。またコンビニエンスストアや地元消防署と連携し様々な対策をとる、全国の「芹が谷」という地名のまちと災害時に扶助し合う等、様々な取組を検討します。



高嶋 美穂子
(職員・日野第一)

企業力を活かした地域づくり

地域と地元企業が顔の見える関係を築くことが出来れば、いざという時の協力体制が確立されると思います。お互いが主催するイベントへの参加、こども110番の店舗版、子どもの職業体験の受け入れ等を通じて、地域側にも企業側にもメリットがあるような形を検討していけたらと考えています。

2. 受講生全員によるふりかえり

受講生一人ひとり、学び舎ひまわりで学んだこと、これからの抱負を発表しました。

石上 捷子	今まで知らなかったことがたくさんあったと実感！地域で活かしていきたいです。
鈴木 アイ子	参加するうちに、だんだんこれは自分にとって必要なことだと感じるようになりました。
野尻 啓五	第4講の障がい者をまじえての拠点訓練が印象的でした。地域で情報共有し活用したいです。
青田 伊緒子	いい活動をまねる話で気持ちが楽になりました。マイプランの作成には娘の協力も。
岡田 正紀	課題の解決に向けて今あるものを変化させ、新しいものを作っていく必要性を感じました。
磯辺 港	組織で防災に取り組むことの大事さを実感しました。これからも地域で継続していきます。
落合 茂	各世代が切れ目なく地域活動に携われるよう、皆さんからいただいた知恵を生かしたいです。
児玉 一正	団地の防犯防災について考えているが、子どもたちの力を生かしながら進めたいと思いました。
谷本 吉年	自分の地域での実現をあきらめていたことを、もう一度実現させたいと思いました。
西成 源四郎	これから高齢化を地域でうけとめ、乗り切っていくためにマイプランを実現させたい！
濱地 直樹	防災のプランを考えたくて参加。皆さんから毎回たくさんの参考になる意見を聞けました。
清水 喜代美	皆さんの熱い思いを感じました。新しいこと始める際、悩んだら学び舎に立ち返ります。
中村 久枝	今日のマイプランの発表がどれも素晴らしかったです。これからも頑張っ活動していきます。
湊 博康	これからは自治会の中の縦の関係と横の関係を、両方育てながら活動していきたいと思います。
山内 京子	地域で自治会の活動への参加者が増えるよう、活動中にも皆さんにひと声かけていきたいです。
飯島 英夫	異なる地域の方と意見交換ができて良かったです。地域活動者の年齢層を広げていきます。
小屋 俊彦	まず計画を立て、やれるところから始められればと思いました。地域の根底はやはり防災。
齊藤 亮	高齢化問題だけに目を向けるのではなく、青少年のために地域が何かできるかを考えたいです。
田中 幹久	同期の皆さんから若さとパワーをもらいました。今日は卒業ではなくスタート！
根岸 香代【職員】	まち歩きでのわがまち紹介、普段とはまちが違って見えました。地域の皆さんは頼もしいです。
野澤 裕美【職員】	講座の中で地域の方と顔がつながり、港南区の様子がよく見えました。
榊原 秀和【職員】	たくさんある課題はどこかで必ず繋がっている！今後は皆さんと力を出し合いながら進めます。
春日井 利宜【職員】	地域の皆さんの熱い思いが刺激になり勉強になりました。学び舎の受講は自分にとって宝です。
臼井 真世【職員】	自分の目で見てまちを知ることが出来ました。皆さんの思いを聞く良い機会になりました。

3. 修了証書授与式

藤田校長から修了証書が授与されます。



卒業生代表 挨拶（日野第一連合 小後摩和雄）



たくさんの実践事例見学を経て、活動されている方の生の声を聴くことが出来、大変参考になりました。また、みんなで発表し合い、意見を出し合いながらより磨きをかけて完成させたマイプランは、どれも素晴らしいものばかりです。防災減災、見守り、子ども力、取り組む項目は違いますが地域をよくしたい気持ちに変わりはありません。これからも学び合った仲間とともに、地域で頑張っていきたいと思います。

3. 学びのまとめ 集計結果

回収数：28件 回収率：87.5%

満足	やや満足	やや不満	不満
26	2	0	0
92.9%	7.1%	0%	0%

受講生の主な意見

- ◎マイプランの発表が素晴らしかったです。
- ◎受講生全員のコメントが聞けたことがとても良かったです。
- ◎受講生全員が地域を思い、未来に向かって考えていると感じました。
- ◎発表内容が、第5講の発表時よりさらに良くなっていたと思います。
- ◎来賓、卒業生の皆さんにたくさんご列席いただき、とても感謝しています。

全体を通しての主な感想

- ◎学んだ各町内会の意見を参考に、今後自分の町内会で活かしていきたいと思います。
- ◎各地域の方と話せたこと、ネットワークを構築できたことが何よりも財産。
- ◎情報を共有し、良いところを取り入れることで、各地域の事情に合わせた施策が可能であることが分かりました。
- ◎各委嘱委員の方の参加がもっとあったらいいと思いました。
- ◎各講もっとグループ替えをして、全員と交流を持ちたかった。

平成27年度 学び舎ひまわり 卒業生へ贈る言葉

藤田 誠治 校長

(港南区連合町内会長連絡協議会 会長)

受講生の皆様、地域活動、仕事等多忙の中、まち歩き、事例見学、「マイプラン」の作成など、さまざまな課題に取り組まれ、お疲れ様でした。そして卒業おめでとうございます。

今年で3期目を迎えました「学び舎ひまわり」ですが、卒業生の皆さんや区役所はじめ多くの関係者の方々のご指導とご協力を頂き、回を重ねる毎に充実した内容に成ってきており、大変うれしく感謝を申し上げます。受講生37名の「居場所作り」「担い手作り」「まちの活性化」「防災、見守、支えあい」「健康づくり」等々「マイプラン」の発表や感想をお聞きして、自分の暮らす地域を「より良くしたい」という思いがたくさん込められており、その実現に近づける知恵と工夫が感じられ胸を熱くし意を強くしました。

地域活動は自治会町内会が要です。是非「学び舎ひまわり」での経験やつながりを各地区で活かしていただき、地域を支えるチカラとなっただくことを期待しています。みんなで仲良く、楽しく、少しずつ無理をせず、横のつながりを大切にして、協働の地域づくりを一緒に進めて行きましょう。



高森 政雄 名誉校長

(港南区連合町内会長連絡協議会 顧問)

この度、学び舎ひまわりを卒業された三期生の皆様、誠におめでとうございます。学び舎ひまわりは、地域で活動している方々が集い学び合う場です。地域全体を見渡し、人材や資源を活かして、その地域の課題をさまざまな人達が協力しながら解決していく力を身に付けることをめざしています。高齢社会の中で、次の世代により良い環境を引き継いで行く為に、半年の期間受講された皆さんの「子ども達のためにふるさと港南を築いていきたい」といった前向きな気持ちが強く感じられました。

今後一層協働の地域づくりを進めて行くには、協働の地域づくりを担っていく「人」が最も重要です。これからの主体となる

「自治会町内会」の皆さんが協働の主役です。地域で出来ることはまず自分たちで協力してやる、出来ない部分を行政に担ってもらう、これが基本です。

私は、行政はパートナーとして一緒に取組んでもらうという考え方が大切だと考えます。卒業された皆さん、この協働を実践する地域の人材としてご活躍をお祈り申し上げます。



長 信男 副校長

(社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 会長)

ご卒業おめでとうございます。今年は第三期地域福祉保健計画発信の年です。その意味から、今期生の皆さまへの期待は高まります。第一期計画は平成18年度に始まりました。同時に、「協働」の理念を具体化する「地域づくり」がスタートし、私達自身が主体的に進めていく活動であることを再確認した年でもあります。

それから10年、高齢者の増加が顕著です。量の変化は、リトマス試験紙が赤から青色に移り変わるように質の変化を伴い、活動にも柔軟性が求められます。皆さまのマイプランを拝見し、その点を踏まえておられる、さすがだと感服いたしました。

過日、ある講演で「地域づくりは、思いつく人・思いこむ人・思いを遂げる人、それぞれが必要だ」と聴きました。今、皆さまは「思いついた人」です。地域に戻り「いいね」と思いこむ仲間づくりに注力されることでしょう。しかし「思いを遂げる」には時間がかかります。次世代で実現するようなケースもあるでしょう。皆さまの全ての「思い」の結実を、心から祈念いたします。



齊藤 貴子 副校長

(港南区長)

学び舎ひまわり、ご卒業おめでとうございます。

「地域をもっと良くしたい!」という熱い思いをもった皆さんが集まり、ワイワイと学び合った濃厚な半年間。皆さんの笑顔を拝見し、すてきな出会いがあったことと確信しています。

『協働』は、港南区の宝です。『学び舎ひまわり』は、まさに地域の皆さんと区職員が一緒に学び合う『協働』の原点です。

自分たちの地域を見つめ、何が必要か、何かできるかを考え抜いた「マイプラン」、みなさんの思いがひしひしと伝わってきました。ありがとうございます。ぜひ、多くの理解者、応援団のもと、一步踏み出してみてください。

仲良く知恵を出す!

楽しみながら続ける!

笑顔が増えていく!

これからも、明るく元気、笑顔の“ひまわり”がたくさん咲くように、いつまでも住み続けたい港南区を創ってまいりましょう。

未来ある子供たちへ「ふるさと港南」を引き継げるように! 皆さんと一緒に取り組んでまいりましょう。



ご卒業おめでとうございます

平成27年度 学び舎いまわり 卒業式



【交流会の様子】修了証書授与式の後、来賓、先輩卒業生の皆さまとともに、卒業をお祝いしました。

